

国際会議参加報告書

氏名：山口 汰生

所属：神戸大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 材料設計工学研究分野（MI-2）

支援名：機械クラブ国際活動奨励賞

1. 学会概要

本報告は、2025年にジョージア工科大学（米国アトランタ）で開催された「The 19th International Conference on Aluminum Alloys（ICAA19）」に参加した内容に基づきます。本学会は、アルミニウム合金に特化した国際会議として世界的に知られており、2～3年毎に開催される重要な学術イベントです。

開催地であるジョージア工科大学は、マサチューセッツ工科大学（MIT）、カリフォルニア工科大学（Caltech）と並ぶ米国の名門工科大学の一つであり、アトランタ市は1996年夏季オリンピックの開催地としても有名です。

2. 発表内容

発表題目：

“Compression response of Al-Mg system alloy processed by severe plastic deformation under dynamic loading”

（衝撃荷重下における強ひずみ加工を施した Al-Mg 系合金の圧縮変形応答）

本研究では、輸送機器（高速鉄道・航空機など）の構造材料として期待される高強度アルミニウム合金に対し、異物衝突などの動的荷重条件下における圧縮応答について解析を行い、その成果を国際会議にて発表しました。

3. 所感

今回が初の海外渡航および英語での学会発表ということもあり、研究内容の整理に加え、自然な英語表現になるよう細心の準備を行いました。発表当日は多くの海外研究者を前に非常に緊張しましたが、無事に発表を終えたことで自信を得ることができ、その後の研究活動にも良い影響を与えていると感じています。

また、アメリカの文化や現地の雰囲気にも触れることができ、非常に有意義な経験となりました。

4. 謝辞

本活動は、神戸大学 機械クラブによるご支援を賜り実現したものであり、心より感謝申し上げます。このような貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

発表会場の様子：

